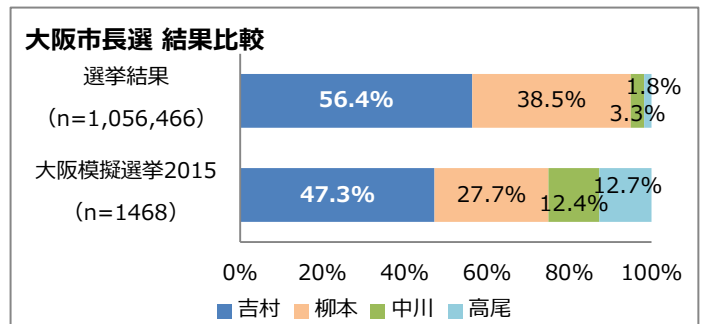
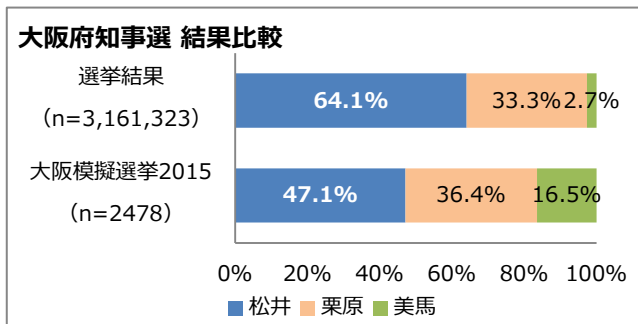


大阪W選挙を題材に高校・大学 20校で模擬選挙 結果を公表
「大阪模擬選挙2015」 早大マニフェスト研と模擬選挙推進ネットワークが実施

早稲田大学マニフェスト研究所と教員らでつくる「模擬選挙推進ネットワーク」が協力し、大阪府知事選・市長選（11月22日投開票）を題材に模擬選挙を全国の高校・大学 20校で実施しました。2,305人から4,044票の投票があった模擬選挙結果は、実際の選挙結果と比べ、得票順など同じ傾向が見られました。今回の試行を受けて、「選挙公報の印刷」など「主権者教育を実施する際の問題・課題」を解決するべく、来年の18歳選挙権実現に向け、教員へ情報提供や公職選挙法改正を含めた提言をしていきます。 ≫企画詳細：<http://www.maniken.jp/switch/osakamogisenkyo2015.pdf>



▼模擬選挙結果と実際の選挙結果の割合比較（有効投票数） ※各学校の投票傾向をそのまま表すものではありません。



□投票結果について（早稲田大学マニフェスト研究所）

- ① 得票数順など実際の選挙結果と同様の傾向が見られた／② 大学では高校と比べ、当選者・次点以外の候補への投票が減少／③ 若干の差はあるが、メディアの出口調査と同様に、若年層の維新支持の傾向が伺えた

▼大阪・クラーク記念国際高校での実践に関わった環太平洋大准教授 林紀行氏の見解

今回の取り組みを通じて、適切な政治教育を行えば、選挙権を18歳に引き下げても、懸念されるような問題は起きないことが明らかとなった。今後は、若年層が政治に積極的に参加する仕組みを構築するためには、どのようなインフラ整備が必要なのかを議論すべきだ。



▼結果・実施をうけて 模擬選挙推進ネットワーク事務局長 林大介氏（東洋大助教）の見解

来年7月からの「18歳選挙権」を見据え、未来の有権者に対する政治教育の試行として実施した模擬選挙は大阪府市だけでなく他県の未来の有権者も参加しました。政策を考える意義を感じる機会を醸成しつつ、学校や地域で取り組む際の課題も見えてきました。次の本格実施につなげます。

▼実施概要（URL：<http://www.maniken.jp/switch/osakamogisenkyo2015.pdf>）

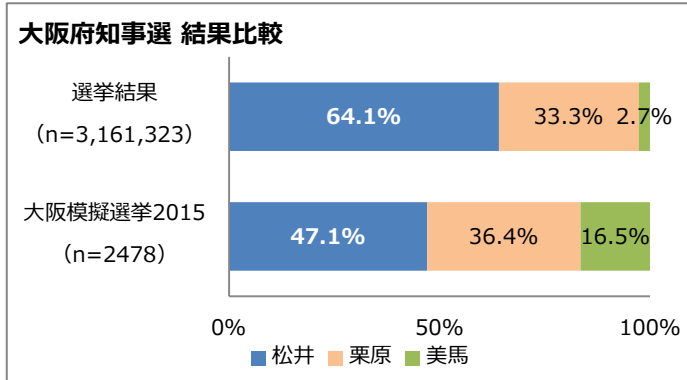
取り組み名	大阪模擬選挙2015～大阪府知事選・市長選を題材に全国で模擬選挙を試行～
主催	早稲田大学マニフェスト研究所（事務局）／模擬選挙推進ネットワーク（呼びかけ）
参加規模	全国の高校・大学など20校で実施、2,305人の生徒・学生が参加（投票数4,044票 ※無効票含）
実施校	【青森県】青森中央学院大学 【東京都】都立高島高校、代々木高等学校（東京本部）、東洋大学 【大阪府】大阪府立旭高等学校（選択授業）、大阪府立北摂つばさ高等学校、クラーク記念国際高校 大阪梅田キャンパス、大阪府立富田林高等学校、高校5校／街頭投票 【兵庫県】神戸市立楠高等学校 【滋賀県】近江兄弟社高校 【奈良県】奈良文化高等学校 【岡山県】大学1校 【福岡県】久留米大学、久留米市立南筑高等学校 【熊本県】城北高等学校

▽詳細な割合比較（有効投票数 ※無効票は除いた割合）

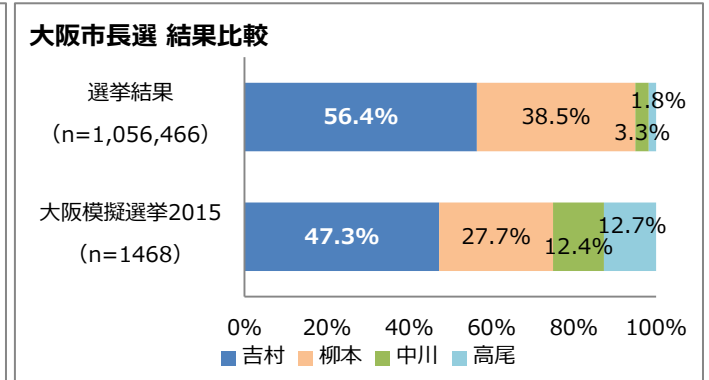
全国 20 校 2,305 人 投票総数 4,044 票 有効投票数 3,946 票（無効票 98 票）

※府知事、市長選を対象とし、各学校で実施選挙が違うため投票総数と投票者数がイコールではありません。

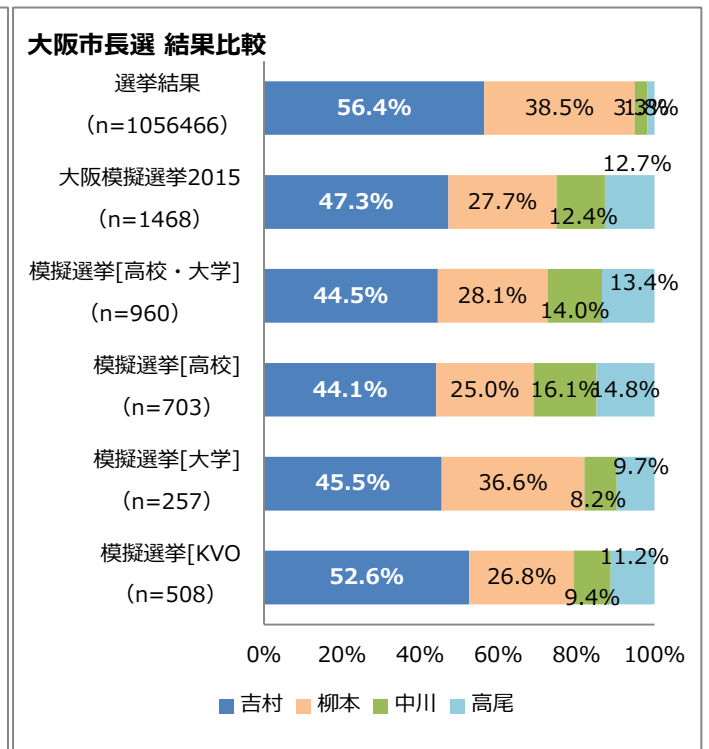
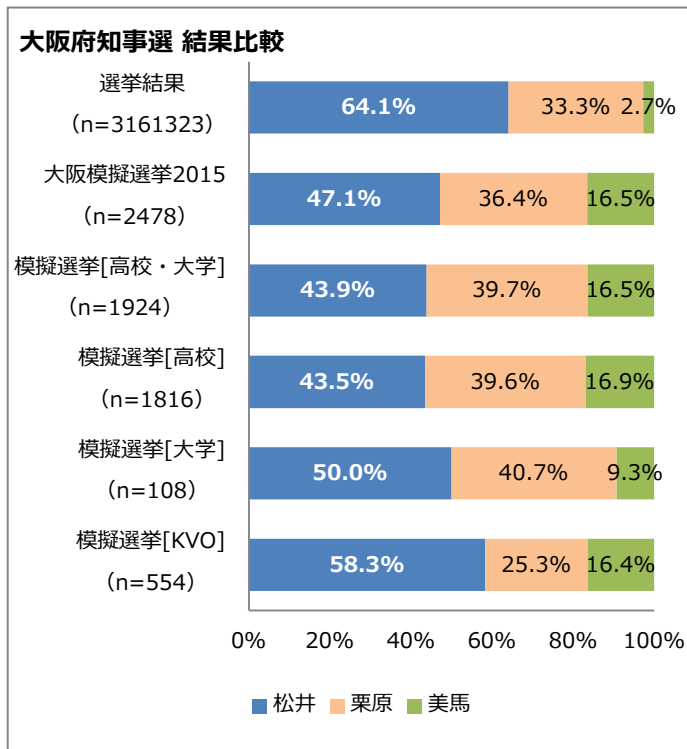
■大阪府知事選



■大阪市長選



■実施方法、大学・高校による結果の比較



※KVO… Kids Voting Osaka。関西近郊の高校生と大学生を中心としたメンバーで社会や政治に目を向けるきっかけをつくることを目的に設立。未成年者を対象に大阪府内で選挙期間中5日間に模擬投票を実施。投票所設置、街頭投票、Web投票を実施し1069票（無効票7票）を収集した。

■模擬選挙推進ネットワーク／早稲田大学マニフェスト研究所による分析

- ① 実際の選挙結果と比較したところ、得票順で同じ傾向が見られた
 - ・ 模擬的な投票ではあるが、未来の有権者（未成年者）の選択も、有権者と同様の得票順となった
- ② 大学では高校と比べ、当選者・次点以外の候補への得票が少ない傾向があった
 - ・ 「泡沫」と言われる候補も対等に比較している資料を利用したこと、実際の選挙では「死に票」（落選者への投票）となる投票も、模擬選挙では比較的投票されやすい傾向にあるためと考えられる
- ③ 若干の差はあるが、メディアの出口調査と同様に、若年層の維新支持の傾向が伺える
 - ・ 投票理由等のアンケートの分析が待たれるが、メディアで報道されたような傾向が今回伺えた